資料３－６

H26アクションプランに対する助言

・【エ・文07】創発現象を利用した革新的超低消費電力デバイスの開発
・【エ・文12】スピントロニクス技術の応用等による
　　極低消費エネルギーICT 基盤技術の開発・実用化
・【エ・経01】ノーマリーオフコンピューティング基盤技術開発

平成25年12月16日

石川正俊、土井美和子、西直樹、
羽生貴弘、渡邊久恒、西村正（とりまとめ）

【連携施策】
・「創発現象を利用した革新的超低消費電力デバイスの開発」
・「スピントロニクス技術の応用等による極低消費エネルギーICT基盤技術の開発・実用化」
・「ノーマリーオフコンピューティング基盤技術開発」

上記連携施策推進にあたってのキーポイント（注力する技術開発、補足すべき技術開発、整理すべき規制緩和等）について、構成員の助言、提案（プレゼン）を行う。

石川、土井、西、羽生、渡邊、取りまとめ西村

第一回WG（12月16日）における意見
- 適用先のアプリケーション（を明確にすること）
- 特定のデバイス部分だけでなく、全体のバランスを考えた出口戦略を考える必要がある。

第二回WG意見

目次

1） 連携性（テーマ性（将来のエネルギー消費増への解）、アウトプット時期）についての整理

2） 各テーマのキーポイントについての助言、提案

① ノ―マリーオフコンピューティング基盤技術開発

② スピントロニクス技術の応用等による極低消費エネルギーICT基盤技術の開発・実用化

③ 創発現象を利用した革新的超低消費電力デバイスの開発

3） 出口戦略についての意見